

第2版の序

KEY BOOK シリーズ『知っておきたい泌尿器のCT・MRI』が2008年に刊行され、10年以上が経過した。このような疾患ベースで泌尿器科領域の画像診断全般を掘り下げた類書はほとんどなかったため、お陰様で多くの読者の支持を得ることができ、本領域の単行本としてはベストセラーといってよい本となった。世界的にみても、泌尿器科領域の画像診断で、このコンパクトさでこれほど内容の充実した本は見当たらない。

ただ、10年も経つと泌尿器科領域の臨床ならびに画像診断においても様々な進歩がみられた。特に癌取扱い規約やガイドラインの改訂なども多くの臓器で行われた。また最近では、腎細胞癌などにおいてWHOの新たな病理分類も行われ、疾患のとらえ方も大きく変わった。

さらにこの10年間で、画像診断の技術としてはマルチスライスCTの進化に伴うCT urographyや逐次近似法、MRI撮像の高速化や拡散強調像の発展などがみられ、日常の画像診断のプラクティスにも様々な変化がみられるようになった。また前立腺癌の診断ではPI-RADSが使われはじめ、最近ではversion 2となっている。このような最近10年間の進歩に伴い、さすがにKEY BOOKの内容にも古さが目立ちはじめ、新たに内容を刷新する必要が出てきた。

今回の改訂にあたっては、本領域のナンバーワンの書籍の地位をさらに確かなものにするために、新しい概念の疾患や検査法などをできるだけ取り入れ、わが国の泌尿器画像診断のトップの先生方に執筆していただき、非常に内容の充実した本が完成した。ページ数も前回の384ページから624ページへと大きく増加し、かつ情報量も非常に増えている。まさに泌尿器画像診断の決定版になったと確信している。

最後に、本書にご執筆いただいた全国の先生方、ならびに企画・編集に尽力してくれた学研メディカル秀潤社 画像診断編集室の皆様にご心より御礼を申し上げます。

2019年3月

山下康行